

当院で実習を受けられる学生の感染対策について

2021年12月14日

荒尾市民病院

新型コロナウイルス感染対策本部

当院は荒尾市唯一の急性期病院であり、また、COVID-19の患者を多数受け入れている感染症指定医療機関です。万が一院内感染が拡大した場合の地域への影響が多くなるため、診療面において、また、職員の行動においても、院内に感染を持ち込ませない、万が一感染が発覚した場合も院内感染を広げないということを最優先に行動しております。

院内感染予防目的の為、また、今後医療従事者になる学生の方々に感染対策を学んで頂くという観点からも、実習に来られる学生の方々にも当院職員と同じレベルの感染対策を行っていただく必要があります。実習前及び実習中の検査及び行動制限にご協力をお願いします。ご協力いただけない場合、また感染状況によりましては、実習をお断りする場合がございますのでご了承ください。

- ① 実習開始1週間前～5日前および前日の2回、PCR検査を受け陰性を確認する。
- ② PCR検査から実習終了までの間は、個室やパーテーション設置などの感染対策が十分な店での個食以外の外食は行わない。
- ③ PCR検査から実習終了までの間は、複数人数の集まるイベント等を自粛、出席する場合は、参加後行動歴のレポートを提出する。イベントの内容、行動歴によってはイベント参加後2週間の実習停止及び健康観察、実習再開前のPCR検査を命じることがある。
- ④ PCR検査から実習終了までの間は、部活動については飲食を伴わず常時マスクをつけて行える活動、もしくはマスクを取る場合は換気が十分で他人との距離が十分とれお互いに声を出さないなど、万が一一部内で感染者が発生しても濃厚接触者と判定されない行動のみの活動に制限する。
- ⑤ 同居家族にも上記に準じる対応行ってもらい、それが不可能な場合は、その同居家族とは動線を分ける、食事の時間をずらすなどの対応を行う。
- ⑥ 本人及び同居家族に風邪症状・発熱などがある場合は来院せず、自宅待機し当院に電話連絡をしてその指示に従う。